

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-1_学習活動の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
5-01-01	生涯学習機会の充実	00338_01	高齢者生きがい創造学園講座事業
5-01-01	生涯学習機会の充実	10285_01	生涯学習大学等の開催
5-01-02	生涯学習関連施設の充実	02610_01	生涯活躍のまち拠点施設管理運営事業
5-01-02	生涯学習関連施設の充実	10134_01	公民館施設環境整備事業
5-01-02	生涯学習関連施設の充実	10278_01	高齢者生きがい創造学園環境整備事業
5-01-03	図書館機能の充実	10092_02	図書館利用促進事業
5-01-03	図書館機能の充実	10293_01	図書館施設整備事業
5-01-03	図書館機能の充実	10400_01	ブックスタート実施事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	00338_01		
事業名(行目名称)		高齢者生きがい創造学園講座事業費		細事業名	高齢者生きがい創造学園講座事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	学習活動の充実			
	基本計画	生涯学習機会の充実		担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市に居住するおおむね60歳以上の方			数値	38126人		
	手段(どうやって)	令和3年度講座開設(高齢者生きがい創造学園講座 16講座) 学園自主サークル活動の支援(サークル 52サークル)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢者の自立と生きがいづくり、役割について、時代の変化に対応することのできる学習機会の提供に努め、参加者の増加を図る。来る高齢者を迎えるにあたり、高齢者が自立意識や健康な生きがいを見出し、また、ボランティア意識が向上することにより、生涯学習活動を発展させるとともに、まちづくり活動の前進に繋げる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	生涯学習指導員報酬 5179 職員手当等 864 会計年度職員共済費 1047 講座講師謝礼 1088 旅費 202 消耗品費 103 食糧費 32 講座パンフレット印刷代 121 受講生連絡用切手・ハガキ代 74 講座用バス借り上げ 247 複写機レンタル代 126 器具購入費 55		
経費		8,437	9,233	9,233	8,768			
財源	県・国支出金	3,529	3,089	3,089	0			
	地方債		0	0				
	その他	3,938	5,164	5,164	994			
	一般財源	970	980	980	7,774			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
講座受講者数			目標値	4912	5000	2500	5000	5000
			実績	4009	1784	1083	2387	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
学びの場としての活動が、健康づくりや人との交流につながり、利用者の方にも求められる施設となっている。 新型コロナウイルスの感染対策を徹底して開講に努めてきたが、休園等で活動が制限されることも多かった。今後の運営の課題として考慮すべき部分である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
今後も高齢者の生きがいづくりの場としての役割を担い、時代のニーズにあった学習機会の提供に努める。 生涯学習活動を充実させることにより、参加者の増加を図る。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
現在、高齢者生きがい創造学園は、高齢者の新たな人間関係の構築や興味を深める場として重要な役割を担っている。 活気ある老後への足掛かりとなるこの活動は、高齢化の進む現代社会において継続すべき事業である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10285_01			
事業名(行目名称)		生涯学習センター充実費	細事業名	生涯学習大学等の開催				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実				
	基本計画	生涯学習機会の充実	担当課	社会教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	新居浜市全市民		数値	120352			
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、工業高等専門学校等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開催する。 ・市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開催する。 ・市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。 ・生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。 						
	目的(どんな状態にしたいのか)	センター職員(指導員)による官制の講座から市民との協働へと、委嘱された生涯学習推進員を中心とした講座の企画立案から、ボランティアの協力員が加わった運営まで、市民スタッフによって運営される「市民による市民のための講座」を目指し、また、教養の向上に加え「ソフト面を中心とした生涯学習のまちづくり、ものづくり」の学習機会を提供し、ふるさとのまちづくり意識の高揚を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,196	11,305	11,305	7,665			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	報酬 6,032 職員手当等 1,006 共済費 1,215 報償費 1,753 旅費 406 需用費 355 役員費 170 委託料 200 使用料及び賃借料 168		
	地方債		0	0				
	その他	989	2,444	2,444	1,835			
	一般財源	6,207	8,861	8,861	5,830			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
延べ受講生数(人) ※目標値は、定員数			目標値	6295	5765	0	7332	7895
			実績	5353	3481	0	4984	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
<p>令和2年度以来新型コロナ禍によって、従来の「集まる学び」に対して様々な制限がかかっている。現在、リモートによる講座開設など新しい手法を採用して取り組んでいるが、これまで蓄積してきた手法の良き部分は残し、改善すべきは積極的に挑戦していくことで、学びを止めないことが重要だと考えている。現段階では、ZOOM等を活用し、講師が自宅や大学から配信し、受講生が共同視聴する形態が多いが、各自が自宅からでも視聴できる手法も視野に入れ、実証実験に取り組んでいる。その際課題となるのは、各家庭でのウェブ環境やパソコン・スマホ</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>当事業では、受講生から受講料を徴収している。今年度からその増額を図り、人件費を除く事業必要予算と受講料収入がほぼ同額という状況である。生涯学習の方向性を志向した平成初期から受益者負担の原則を導入しているが、当初は補助事業と同じ2分の1の負担という原則で進んできたが、現在はほぼ全額負担で、公民館等の活動との不公平感が否めない。現在の講座は、個人の欲求充足のみではなく、社会の要請に応える課題解決型学習も増大しており、社会教育的な学習機会提供となっている。学習に伴う資料作成に必要な印刷機が修理保証期限を超えてお</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		B:事業の進め方の改善検討				
<p>令和3年度においても新型コロナ禍の影響下での運営となり、従来の集合スタイルの講座だけへのこだわりを捨て、リモート講座の開催に取り組んだ。生涯学習大学の受講生は高齢者層が多く、ICTIに対して拒絶反応が強いという固定観念を持っていたが、高齢者にとっては移動手段の問題や聴力の低下の問題などもあり、新しい学びに対して積極的に取り組む層が存在することも知り、デジタルデバイドの解消に向けて積極的に取り組むことの重要性を学ぶことができた一年であった。また、まなびすとの主体的な取り組みが拡大し、新しい講座が生まれたことも大きな成果であった。アフターコロナの時代の新しい生涯学習大学に向けての歩みができた一年であったと評価している。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02610_01		
事業名(行目名称)		生涯活躍のまち拠点施設管理運営費	細事業名	生涯活躍のまち拠点施設管理運営事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実			
	基本計画	生涯学習関連施設の充実	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ワクリエ新居浜の運営管理及び施設利用者		数値	約50000人		
	手段(どうやって)	施設の管理運営については、効果効率的かつ柔軟なサービスを提供するため、指定管理者制度を導入することとしている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	起業家・企業を呼び込み、新たな産業の拠点とするほか、多世代・他分野の方が互いに知識と経験を深め、資格取得や趣味に至る各種講座も開講することで、生涯活躍を目指し未来に向かってチャレンジするすべての人を応援するための拠点施設とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	43,611	43,611	44,834	需用費 1,000 役務費 58 委託料 42,553	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		0	43,611	43,611	44,834		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
施設利用者数		目標値	0	0	25000	50000	60000
		実績	0	0	21000	55379	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>コロナ感染対策期の延長により、オープンが4月下旬から6月1日の延期されたが、その後は感染対策を徹底しつつ、見込みを上回る利用をいただいている。レンタルオフィスも5室中、3室が稼働(10/1現在)しているほか、飲食施設、コワーキングルーム等の利用状況も順調である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>R3～R5の指定管理期間においては、債務負担行為を行っている。R4については、R3の実績により電気代等の固定経費の見込みが立つので、余剰金が出る場合は年度協定における委託料が減額となることも考えられる。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>コロナ感染対策の影響を受けながらも、見込みを上回る利用をいただくことが出来た。新年度に向け、指定管理者とも連携し、より魅力的な取り組みの企画、快適な利用環境の整備を促進することで、更なる利用者数の拡大と施設運営の充実を目指すこととする。 電気代等の固定経費については、指定管理者との協議のうえ、R3年度の実績額を踏まえ、R4年度の指定管理料を減額することとした。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10134_01
事業名(行目名称)		公民館施設環境整備事業		公民館施設環境整備事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		学習活動の充実		
	基本計画	生涯学習関連施設の充実		社会教育課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民(公民館施設等の利便性)			数値	18
	手段(どうやって)	公民館運営上必要となる修繕等の環境整備希望箇所の中から、緊急性・必要性の高い箇所の修繕や備品整備を行う。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	住民の地域づくりの拠点として、より安全快適な施設環境を作り、市民サービスの向上に資する。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		98,109	12,237	12,237	10,816	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	施設修繕料 5,427 中萩公民館LED照明改修 1,570 神郷公民館LED照明改修 1,293 惣開公民館LED照明改修 802
	地方債	84,300	3,200	3,200	2,000	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	13,809	9,037	9,037	8,816	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
施設修繕対応率(修繕対応館数/希望館数)			目標値	100	100	50
			実績	100	100	50
			100	100	50	100
—						
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
修繕及び備品購入の選定については、年度当初に全館に対して希望調査を実施し、担当職員が現地での現状調査・確認を行うとともに、各公民館長・センター所長から要望に関するヒアリングを行っている。全公民館のすべての要望に応えることができないため、その中でも緊急性・安全性の高いものから対応している。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大			
公民館は、住民の地域づくりの拠点として、様々な市民が利用することから、より安心・安全な施設環境を保つ必要があるため、今後も現場の希望調査を実施し、緊急性・必要性の高いものから修繕・備品整備を行う。 なお、施設の老朽化に伴い比較的大規模な設備改修が必要となってきたため施設修繕料の増額が必要と考えられる。						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当		
省エネルギー対策の一環として、公民館3館(中萩、神郷、惣開)の利用率の高い部屋の照明をLED照明に取替を実施した。公民館利用者からは、以前よりも部屋が明るくなったため好評であった。 年度初めに各公民館等の修繕及び備品購入希望調査を実施し、緊急性、重要語、公民館からの希望順位などから優先順位を決定し、計画的に修繕・備品購入を実施した。なお、突発的な故障や破損が発生し、その都度計画を修正しながら対応したため、当初の希望すべてに対応することができなかったが、公民館との協議を通じて、必要性及び緊急性の高いものについては対応することができた。						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10278_01			
事業名(行目名称)		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	細事業名	高齢者生きがい創造学園環境整備事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実				
	基本計画	生涯学習関連施設の充実	担当課	社会教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	高齢者生きがい創造学園施設利用者	数値	38,126人(令和2年度実績)				
	手段(どうやって)	耐震補強工事及び屋上防水改修工事等の設計業務及び外部工事						
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設利用者が安全・安心に利用できるように施設環境の整備を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	47,552	47,552	43,027	委託料 22,552千円 工事請負費 25,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	47,552	47,552	43,027			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
予算執行率(予算執行額/予算額)%			目標値	0	0	80	100	100
			実績	0	0	67	90	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
高齢者生きがい創造学園改修設計業務については、工程表に基づき1月末までに完了予定である。また本館東側の倉庫解体工事の工期を1月末とし10月に発注した。今後、12月に倉庫跡地の造成工事発注予定である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和4年度は、今年度の委託業務等の結果に基づく耐震補強工事及び屋上防水改修工事の実施となるため、その工事請負費の予算を要望する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
高齢者生きがい創造学園改修設計業務、及び倉庫解体工事等、外部整備工事が完了し、令和4年度に実施する耐震改修工事に向けて準備することができた。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10092_02		
事業名(行目名称)		図書館充実費	細事業名	図書館利用促進事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実				
	基本計画	図書館機能の充実	担当課	図書館				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	図書館を利用する市民		数値	120,351人			
	手段(どうやって)	多様な資料や情報の充実を図り、豊富な蔵書を基盤に丁寧かつ的確なレファレンスサービスを重視する。また多分野にわたる内容の講座やイベントの開催や関係団体や企業との連携した運営サービスに取り組む。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新鮮で豊かな資料・情報を収集し、地域の情報拠点・生涯学習支援施設として、市民が必要とする資料・情報提供を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		23,038	23,156	23,156	22,979			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	・図書等購入費 19,146千円		
	地方債		0	0		・消耗品費(新聞・雑誌購入費) 946千円		
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	23,038	23,156	23,156	22,979			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
別子銅山記念図書館入館者数			目標値	230000	230000	230000	230000	230000
			実績	223616	185190	77311	145137	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>選書やと除籍のバランスを持ち、利用者ニーズに沿った資料の収集と運営に努めた。またコロナ禍で利用者が安心して利用できるような環境を整え、継続した図書館サービスの提供に取り組んだ。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>市民生活の充実のため生涯学習施設として、多様化する市民のニーズに対し全世代の市民利用に対応する新鮮かつ魅力的な蔵書の整備充実を図る。また、今後も生活様式の変化に対応したサービスの提供に取り組み、図書館の利用促進につなげる必要がある。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
<p>新型コロナウイルス感染症対策を要する状況下、臨時休館やサービス制限などの影響で来館者数が減少したが、市民ニーズに沿った資料を幅広く購入し蔵書の充実を図った。また、感染対策下では効果的なWEBサービスを積極的に活用したり、市民の“家”時間を充実させる企画や感染対策を徹底してイベントを開催し、年度後半には徐々に利用者の数が戻ってきた。 利用統計数の増減のみで利用状況を判断することが難しいが、市民に定着しているイベントや講座も多く、withコロナの現状を踏まえた利用者サービスの提供を図る。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10293_01	
事業名(行目名称)		図書館施設環境整備事業		細事業名 図書館施設整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 学習活動の充実			
	基本計画	図書館機能の充実		担当課 図書館			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	図書館施設を利用する市民			数値	116,886人	
	手段(どうやって)	図書館施設、設備等の修理及び補修、備品の更新を行う。令和3年度は、施設内照明器具LED更新工事及び屋上防水改修工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	図書館施設、設備等の整備を行い、図書館利用者の安全性及び利便性の向上をはかる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		10,641	2,327	2,327	2,318		
財源	県・国支出金	0	0	0	0	・施設内照明器具LED化更新工事 1,320千円	
	地方債	8,700	2,000	2,000	1,300	・屋上防水改修工事 1,006千円	
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,941	327	327	1,018		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
修繕達成率(%)			目標値	100	100	100	100
			実績	100	100	50	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
経年劣化による施設の老朽化を原因とする故障が発生しており、老朽化の現状と緊急性を考慮し適宜修繕工事を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
施設環境・機能を維持するために維持施設・設備の定期点検・日常点検を継続的に行い、適時に修繕等を行う必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当			
計画通り修繕工事を実施し、突発的な不具合等にも速やかに対応し施設修繕を適正に実施することができた。また、市民の利用頻度の高い施設であり、設備の耐用年数も過ぎ修繕箇所が年々増加していることから、老朽化への対応が急務となってくるため、必要性や優先順位を見定めたくえで適時適切な修繕を実施していく必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10400_01	
事業名(行目名称)		ブックスタート事業費	細事業名	ブックスタート実施事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実			
	基本計画	図書館機能の充実	担当課	図書館			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	5か月児と保護者		数値	1,000人		
	手段(どうやって)	保健センターの5か月健康相談時に図書館司書2名が出向き、5か月児と保護者に親子の触れ合いの大切さを説明しながら、ブックスタートパック(図書館で選書した赤ちゃん絵本、読書案内、図書館利用案内等)を手渡す。5か月健康相談時に0歳児(希望者)に図書館カードを発行する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	すべての赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合うきっかけが生まれ、絵本の楽しさ大切さを知ってもらうことによって、子どもの読書推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	赤ちゃん向け絵本セット平均価格1,795円×900人×1.1 = 1,778千円	
経費		1,868	1,778	1,778	1,777		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,868	1,778	1,778	1,777		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
配布数(次世代支援計画のニーズ調査による)			目標値	740	740	740	740
			実績	737	752	270	699
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナ対策のため、昨年度に引き続き司書からでなく保健師から手渡している。保健センターでの相談が中止になった月の対象者には、図書館までブックスタートパックを取りに来ていただいている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ブックスタートパックの絵本を通して絵本に触れ合うきっかけを家庭内で作っていただくことは、子どもの読書促進、ひいては、将来の読書人口の増加につながる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
コロナ禍で、在宅時間が増えた分、親子での絵本タイムに活用されている。Withコロナで図書館への親子来館にもつながっているようだ。							